

# 敦賀港

## 福井県土木部港湾空港課

〒910-8580 福井市大手3-17-1

☎0776-21-1111(代) ☎0776-20-0488(直通)

URL: <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kouwan/index.html>



国土交通省北陸地方整備局敦賀港湾事務所提供

## 1. 概況

### 〈日本海のターミナル〉

敦賀港は、静穏な敦賀湾の奥にあたり、近畿に近いことから、古くから港の繁栄をほこってきた。港としての歴史は古事記にさかのぼり、奈良時代に対岸からの特使が敦賀を訪れたことが記されている。

江戸時代に入り、大阪と日本海地域の物資流通が盛んになるとともに敦賀は海路による中継貿易基地として重要な位置を占め、町勢は興隆を極めた。

明治時代に入ると、政府も本港の重要性を認め、施設整備に努めた結果、日本海沿岸における代表的な港へと成長した。

その後、第一次大戦、満州事変等の勃発とともに、対岸地域との交易が盛んになり、本港は日本海のターミナルとして、経済交流、軍事等の拠点となり活況を呈していた。しかし、第二次大戦により港湾施設が被害をうけ、また対岸貿易が途絶したため本港の港勢は無の状態まで落ちこんだ。

昭和30年代にはいり、日本海沿岸の物資流通が盛んになり、日・ソ貿易が再開されるとともに本港も漸次、活況をとりもどし、昭和45年には、北海道とのカーフェリーが就航し、港勢は大きく上昇した。

### 〈古い修築の歴史〉

また本港は、敦賀湾奥の天然の良港としての修築の歴史は古く、鉄道庁直轄工事(明治10年～15年)、内務省直轄工事(明治42年～大正2年)、第2期修築工事(大正11年～昭和7年)を経て、ほぼ港の原型が出来上がった。第二次大戦の始まりとともに、中京、阪神の両工業地帯と大陸とを結ぶ交通の要衝として取扱貨物量が増大し、施設不足が顕著となった。

このため旧笹の川河口付近に突堤式埠頭を計画したが、一部工事に着手した段階で終戦のため打ち切られた。昭和23年頃になると、政府の食糧自給政策等に刺激されて漁業が再興し、近海及び沿岸漁業の大型漁船の入港が始まった。また、機帆船による石炭輸送が行われ、小型船の入港が増加した。このため旧笹の川河口水面を利用して船溜まりを築造することとなり、昭和23年に着工し、昭和28年に竣工した。その後、日・ソ交渉の妥結、朝鮮動乱後の景気の向上と内外事情の好転を反映して、昭和34年の取扱貨物量はほぼ戦前の水準に達した。

この頃から船舶の大型化が顕著となり、-9.0m岸壁が1バース計画され、昭和38年に完成し、さらに、近代港湾と

して姿を整えるべく、昭和38年3月港湾審議会において整備計画が審議決定され、川崎松栄地区に、-10m岸壁2バース、-4m物揚げ場560mが完成した。また、輸入木材対策として海面貯木場44万㎡、淡水貯木場14万6千㎡が出来上がり、併せて埠頭用地、上屋、荷役機械等の機能施設も整備され、現在に至っている。

### 〈地域の特性を生かして〉

北陸自動車道の敦賀～米原間が昭和55年4月に開通し名神高速道路と結ばれたことにより、本港の背後圏である近畿圏、中京圏への距離は大幅に短縮されることとなった。

このような地理的条件のもとにある本港は、物資流通が増大する中で、日本海側の拠点として重要な役割を担っている。

昭和52年に改訂した港湾計画では、鞠山北地区への新港展開を計画し、近代港湾を目指した。当時、公共岸壁4バース、専用岸壁2バースが整備され、さらに平成4年に改訂した港湾計画では、鞠山南地区に大水深-14m岸壁2バースを持つ多目的国際ターミナルが計画され、うち1バースは平成22年秋に供用。また、平成27年に-14m岸壁の東側延伸と背後ふ頭用地の造成に着手し、令和5年秋には一部拡張部分の供用を開始した。

また、令和3年12月に改訂した港湾計画では、ふ頭再編による物流拠点の効率化や、日本海側の防災拠点、にぎわい・交流拠点に重視した計画が定められ、現在は、鞠山南地区への外貿・内貿のコンテナ・RORO貨物の集約化に向け、更なるターミナルの拡張工事を進めている。

定期航路については、外貿においては、韓国釜山との間にコンテナ航路が週2便、国際RORO船航路が週1便就航している。一方、内貿においては、北海道苫小牧港との間に、フェリー航路が週8便(うち1便は、新潟港、秋田港を經由)、RORO船航路が週6便就航している。加えて、博多港との間にRORO船航路が週3便就航しており、日本海側で唯一、北海道・本州・九州を結ぶフェリー、RORO船の定期航路が就航する港湾となっている。

敦賀港は、北海道、九州を結ぶ日本海側航路により日本全域を貨物背後圏とするとともに、名古屋、大阪から2時間圏内にある唯一の日本海側港湾である。また、国内では近年、ドライバー不足に起因するモーダルシフトの進展や南海トラフ等巨大災害への対応が大きな社会問題となっている。これらの課題解決の一助として敦賀港の地理的優位性を活かしながら、先端技術の導入による高効率な日本海側ユニットロー

ドターミナルの形成、災害時の太平洋側港湾のバックアップ  
港としての機能確保を目指すことで、敦賀港がさらに発展で

きるよう各種取り組みを進めていきたい。

## 入港船舶

種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	255	3,340,424	46	2,162,945	4	57,381	66	509,223
内航商船	764	5,378,021	1	50,142	289	3,234,009	222	1,816,437
自航	385	6,632,949			385	6,632,949		
その他	448	178,208						
合計	1,852	15,529,602	47	2,213,087	678	9,924,339	288	2,325,660

種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	127	590,847	7	16,779	4	2,750	1	499
内航商船	24	127,410	1	1,792	126	99,459	101	48,772
自航								
その他			77	135,610			371	42,598
合計	151	718,257	85	154,181	130	102,209	473	91,869

最大入港船舶のトン数 50,927総トン（喫水 14.2m）

## 海上出入貨物

項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	249,098	100.0	901	0.4			57	0.0	38,727	15.5
輸入	3,259,647	100.0	1,018	0.0	478,243	14.7	2,575,539	79	27,146	0.8
計	3,508,745	100.0	1,919	0.1	478,243	13.6	2,575,596	73.4	65,873	1.9
移出	1,791,708	100.0	42,180	2.4	3,600	0.2	7,286	0.4	976,731	54.5
移入	2,919,875	100.0	178,407	6.1	41,920	1.4	601,052	20.6	1,556,874	53.3
計	4,711,583	100.0	220,587	4.7	45,520	1.0	608,338	12.9	2,533,605	53.8
合計	8,220,328	100.0	222,506	2.7	523,763	6.4	3,183,934	38.7	2,599,478	31.6

項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	132,733	53.3	4,681	1.9	15,693	6.3	56,306	22.6		
輸入	114,798	3.5	28,514	0.9	32,963	1.0	955	0.0	471	0.0
計	247,531	7.1	33,195	0.9	48,656	1.4	57,261	1.6	471	0.0
移出	197,946	11.0	215,684	12.0	281,017	15.7	64,859	3.6	2,405	0.1
移入	159,651	5.5	284,902	9.8	56,196	1.9	40,400	1.4	473	0.0
計	357,597	7.6	500,586	10.6	337,213	7.2	105,259	2.2	2,878	0.1
合計	605,128	7.4	533,781	6.5	385,869	4.7	162,520	2.0	3,349	0.0

太字は自動車航走船取扱貨物（外数）で、計及び合計に含まない

## 外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出	64,417	7,047	6,445
輸入	159,820	13,219	967

## 乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路	9,056	4,527	4,529
内国航路	73,685	35,246	38,439
計	82,741	39,773	42,968

### 3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な取扱貨物
	バース名	前面水深(m)	延長(m)	最大けい船能力(DWT)	船席数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力(t)	基数	棟数	使用面積(m <sup>2</sup> )	
(公 共)											
金ヶ崎埠頭	金ヶ崎C岸壁 金ヶ崎D岸壁	10 7.5	170 130	10,000 5,000	1 1						化学薬品、内貿RORO
蓬萊・桜埠頭	天満棧橋 桜E耐震岸壁 桜F岸壁 蓬萊岸壁(G・H・I)	5 5.5 5.5 7.5	68 100 90 390	300GT 2,000GT 2,000GT 6,000GT	2 1 1 3				3	3,893	
川崎・松栄埠頭	A岸壁 B、C岸壁	7.5 10	200 370	10,000GT 15,000GT	1 2	コンテナクレーン	43.9	1	3	6,104	外貿RORO
鞠山北埠頭	A岸壁 B・C岸壁 D岸壁	8 12 9	130 480 240	5,000 30,000 20,000GT	1 2 1	多目的クレーン	30.5	1	1	1,980	輸送機械 石炭、チップ フェリー
鞠山南埠頭	A岸壁 B岸壁	14 14	280 130	50,000 50,000	1 1	コンテナクレーン	50.1	1	1	3,496	染料、塗料、合成樹脂 その他化学工業品 内貿RORO
(専 用)											
鞠山北埠頭	北陸電力・敦賀セメント共同岸壁 敦賀セメント・北陸電力共同岸壁	14 10	280 250	60,000 15,000	1 1	揚炭U 水平引込式U	15 18	2 2			石炭 石灰石、セメント
明神埠頭	重量物揚場岸壁 原電明神棧橋	5 6	100 67	1,500 3,000GT	1 1						輸送容器、金属

保管施設		
区分	棟数	面積・容量
野積場(計)		358,907m <sup>2</sup>
(石炭など)	-	64,290m <sup>2</sup>
(コンテナ)	-	89,014m <sup>2</sup>
(珪砂)	-	10,030m <sup>2</sup>
(シャーシ)	-	111,172m <sup>2</sup>
(その他)	-	84,401m <sup>2</sup>
普通倉庫		
1~3類倉庫	20	8,717m <sup>2</sup>
危険品倉庫	-	-
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	-	-
冷蔵倉庫	1	2,400m <sup>2</sup>
水面倉庫(貯木場)	3	86,821m <sup>2</sup>
	淡水	2号 32,857m <sup>2</sup> 4号 9,098m <sup>2</sup> 5号 44,866m <sup>2</sup>

泊地		
区分	水深(m)	面積(m <sup>2</sup> )
錨泊地		2,269,567
検疫錨地	18.0~23.0	785,400
避難泊地	2.0~24.0	918,000
回頭泊地	3.0~10.0	566,167
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港湾関連施設	
名称	延床面積(m <sup>2</sup> )
旅客ターミナル	3,263

臨港交通施設	
名称	総延長(m)
臨港道路	12,030
新交通・鉄道	-
ヘリポート	4,317m <sup>2</sup>

### 4. コンテナターミナルの概要

川崎・松栄地区

埠頭名	川崎松栄C岸壁
ターミナル面積	17,937m <sup>2</sup>
岸壁延長	185m
水深	10m
荷役機械	GC1基
アウトリーチ	28m
リーファープラグ	10基
荷役方式	ストラドルキャリア方式

鞠山南地区

埠頭名	鞠山南A岸壁
ターミナル面積	71,077m <sup>2</sup>
岸壁延長	280m
水深	14m
荷役機械	GC1基
アウトリーチ	32m
リーファープラグ	12基
荷役方式	トランスファークレーン方式

## 5. マリーナ

該当なし

## 6. 緑地

名称	区分	面積(m <sup>2</sup> ) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施設	
						利用施設	附属施設
鞠山北緑地(2)		4,000	-	修景緑地	平成元年度	水飲場1カ所、ベンチ4基 休憩広場240m <sup>2</sup> 、便所1カ所	遊歩道430m <sup>2</sup> 照明灯3灯
鞠山海遊パーク		10,000	435	休憩緑地	平成8年度	魚釣施設、休憩所、便所1カ所	ベンチ10
金ヶ崎緑地		35,000	336	シンボル緑地	平成14年度	休憩所、東屋	時計塔1基
鞠山南中央緑地		13,000	-	緩衝緑地	平成22年度	-	-

## 7. 基地港湾

該当なし

## 8. ポートサービス

港湾運送

名称	所在地	電話番号	業種					
			一般	港湾荷役			はし かけ	いか だ
				港湾荷役 (一貫)	船内	沿岸		
(株)上組敦賀支店	〒914-0823 敦賀市杵見156号中田11-1	0770-22-9806		○				
敦賀海陸運輸(株)	〒914-0078 敦賀市桜町2-10	0770-22-3111	○		○	○	○	○
敦賀セメント運輸(株)	〒914-8691 敦賀市泉2-6-1	0770-22-0807	○	○				

曳船

名称	所在地	電話番号	馬力	隻数
日動海運(株)	〒914-0079 敦賀市港町8-1	0770-25-2741	3,100、3,600	2

医療・厚生施設

(港湾)

区分	名称	所在地	電話番号
総合厚生	敦賀港湾労働者福祉センター	〒914-0078 敦賀市桜町3-4	0770-22-2895

## 9. 関係出先官公署

名称	所在地	電話番号
名古屋出入国在留管理局福井出張所	〒910-0019 福井県春山1丁目1-54(福井春山合同庁舎内)	0776-28-2101
大阪税関敦賀税関支署	〒914-0079 敦賀市港町7-15(敦賀港湾合同庁舎内)	0770-22-0025
大阪検疫所敦賀出張所	〒914-0079 敦賀市港町7-15(敦賀港湾合同庁舎内)	06-6571-3521
名古屋植物防疫所伏木富山支所小松空港出張所	〒923-0993 石川県小松市浮柳町ヨ21(小松空港庁舎内)	0761-24-1770
中部運輸局福井運輸支局敦賀庁舎	〒914-0079 敦賀市港町7-15(敦賀港湾合同庁舎内)	0770-22-0003
敦賀海上保安部	〒914-0079 敦賀市港町7-15(敦賀港湾合同庁舎内)	0770-22-0191
北陸地方整備局敦賀港湾事務所	〒914-0065 敦賀市松栄町7-28(敦賀地方合同庁舎内)	0770-22-2590
福井県嶺南振興局敦賀港湾事務所	〒914-0078 敦賀市桜町2-1	0770-22-0369

敦賀港

